

まぐしやう

No.8

2012年10月18日発行

◆ 編集発行 ◆

菊川市消防本部

〒439-0019

菊川市半済1776-1

TEL(0537)35-0119



2012年度全国統一防火標語

消すまでは 出ない行かない 離れない

平成24年度 全国火災予防運動

〈秋の全国火災予防運動〉

平成24年11月9日～平成24年11月15日

〈春の全国火災予防運動〉

平成25年3月1日～平成25年3月7日

平成24年9月30日現在 災害状況

火災件数	救急件数	救助件数
11 件	1,010 件	13 件
平成23年中の総災害数		
25 件	1,277 件	16 件

菊川市の現在の災害情報及び近隣病院の当直医を下記の番号で御案内しております。ぜひ御利用下さい。

37-3119(24H)

安全・安心のまちづくりに向けて



菊川市消防長 横山克喜

災害に向け、より一層の消防力の充実・強化に取り組んで参りたいと考えています。

その取り組みとしましては、平成二十六年四月の運用開始を目指し、消防救急活動の拠点となる、消防庁舎の整備を行なっており、職員一同、新しい庁舎の完成を心待ちしています。新たな消防体制の確立に向けて、着々と準備を進めているところであります。

に、高度な救命処置に向け、知識や技術の習得など、安定した消防救急業務の遂行に努めているところであります。

消防団の活動につきましては、生業を持ちながら、市民を火災や災害から守るといふ献身的な活動を行なって頂いているところですが、近年の少子化や社会構造の変化に伴い、消防団員の不足など、幾つかの課題が生じてきています。しかし、消防団の組織は地域防災の要として必要不可欠と考え、今後も、それらの課題の解決に向けて取り組んで参りたいと考えています。

また、本年四月より中東遠消防指令センターが運用開始し、中東遠の5市1町(磐田市・袋井市・森町・掛川市・菊川市・御前崎市)の広域的な災害情報の共有化が実現しました。今後、さらに消防間の連携体制の強化を図って参りたいと考えております。

結びに、今後起こりうる大規模災害に備え、消防署と消防団の連携体制の強化を図っていくことや、地域の皆様との連携が、災害時には非常に重要なことと考えておりますので、市民の皆様には、引き続き、ご理解・ご協力と、ご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

消防に求められている災害対応については、昨年発生した東日本大震災により、改めて発生が危惧されています。東海、東南海、南海トラフなどによる巨大地震、また、近年の予測不可な集中豪雨など、災害は多種多様な分野に及び、加えて大規模化・複雑化しているのが現状であります。

菊川消防としては、これらの

日常においては、一般家庭の住宅用火災警報器の推進、事業所等の防火管理や危険物の指導、各種災害における速やかな活動に向けた訓練の充実、さら

に、高度な救命処置に向け、知識や技術の習得など、安定した消防救急業務の遂行に努めているところであります。



新消防指令センター紹介

中東遠消防指令センターの特徴

- ・ 広域災害、大規模災害への効果的な対応
- ・ 近隣消防機関との連携強化
- ・ 迅速な相互応援出動
- ・ 複雑多様化した消防需要への対応
- ・ 消防体制基盤の強化
- ・ 人員配備や施設などの効率的な運用

今まで市民のみなさんからの119番通報は、菊川市消防本部にある通信指令室で受信してきました。しかし、より早く迅速に対応するため、中東遠5市1町(磐田市、袋井市、森町、掛川市、菊川市、御前崎市。5消防本部)の共同で整備を進めてきた「中東遠消防指令センター」が平成24年4月1日より運用が開始されました。

火災速報メールを配信中!!

災害情報案内メール登録方法

- ①下記のメールアドレスに空メールを送信してください。
es-kikugawacity@smt3.fastalarm.jp
- ②空メール送信後、すぐに返信されてくるメール本文内のURLに進んで画面の指示に従い、登録を完了してください。

※なお、この火災速報メールは、火災規模の大小に関わらず、全て配信されます。

新 救急救命士紹介



山本 真徳

常に向上心を持ち、菊川市民の方々が安心して日々暮らせるよう、救急救命士として地域に貢献していきたいと思ひます。



望月 直樹

人命救助に対する高い志を常に持ち、自分の生まれ育った街、そして一人でも多くの人を守れるような救急救命士になります。

救急車の適正利用

現在、菊川市では3台の救急車が、昼夜を問わず運用されています。しかし、近年、単なる酒酔いや突き指、打撲、切り傷など明らかに緊急性が低いと思われる救急要請も少なくなく、また、タクシーなど交通機関代わりに利用するケースや夜間・休日等に診てもらえる病院が分からないから呼ぶなど不適正なケースも見受けられます。不適正な救急車の利用は、**緊急性があり本当に救急車を必要としている人**に対して、適切な救急処置等が遅れて、救える命が救えなくなる心配があります。

市民の皆さん、**救急車の正しい利用について**、今一度考えてみてくださひ。

救急車を上手に使いましよう

～救急車 必要なのはどんなとき?～



市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

新庁舎の紹介

現庁舎の老朽化や耐震不足の解消などを目的に消防庁舎を建設し、耐震性能、耐火性能などに優れた安心で安全な施設とします。

市民の皆様は活用していただけるように、家庭における緊急時の災害対応や防災対策、消防の歴史などが学習できるコーナーを設け、各種の学習会、研修会、講習会などにも活用していただけます。

施設は、庁舎棟、車庫棟、訓練塔の合計約2,887㎡の規模の建物を計画しており、平成25年度までに庁舎の建設工事を実施し、平成26年度から新しい庁舎での運用開始を予定しています。

新庁舎完成予想図



新庁舎は、現在整備中の掛浜バイパス沿いの三沢地内に建設中です。

消防団の様々な活動

6月には水防訓練が、7月には菊川市消防団査閲大会が文化会館アエルにて開催されました。水防訓練では、ロープ結索や土のう積み等を訓練し、査閲大会では雨の降りしきる中、訓練礼式やポンプ操法など日頃の訓練の成果が披露されました。この大会は、消防団員の結束力の向上と、土気の高揚を図り、災害対応力をより一層向上させ、消防力の強化を目指すために実施されました。団員たちはこの日に向けて、ほぼ毎日、早朝や勤務後に訓練を重ねる大会に挑みました。



放水訓練



訓練礼式

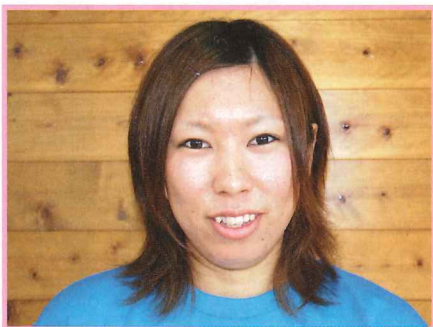


水防訓練

平成24年度 新女性消防団員

河原崎のぞみ団員

女性消防団員として入団する前、どんなことをするのか不安に感じていましたが、心肺蘇生法を始めとした応急手当の普及や子供に対しての花火教室、高齢者防火診断など現場での活動ではなく、女性としても消防団員として活躍できる場が多くありました。これから取得した応急手当普及員の資格を活かし、地域の安心安全のため、自分にできることを実践して行きたいです。



応急手当指導員
松村 奈津団員



いつ起きてもおかしくないとされている東海地震ですが、皆さんはどんな物を備えていますか？飲料水、食品、ラジオ等と一緒に心肺蘇生法を始めとした応急手当の修得もその仲間に入れてみませんか!?大地震が起きれば、一度に多くの負傷者が出ると考えられる為、救急車を期待するのは難しいと思います。そこにいる人達が協力し、助け合うことが重要になるのではないのでしょうか。

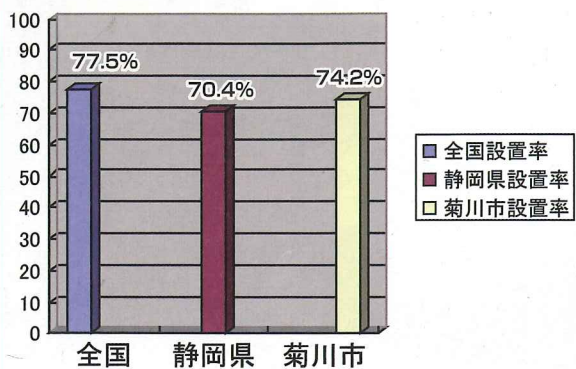
そこで、私は菊川市に住む多くの方に心肺蘇生法を習得して頂きたいと思い、そのお手伝いをさせてもらう為に今回、応急手当指導員の資格を取得しました。分かりやすい指導を心掛け、一生懸命頑張りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

ついでにいますか？ 住宅用火災警報器を設置しましょう！

平成18年6月1日から住宅用火災警報器が設置義務化され6年が経ちました。現在、菊川市における住宅用火災警報器の設置率は、74.2%です。(平成24年6月1日現在)静岡県内市町の平均設置率は、70.4%であり、県内平均は、上回っていますが、全国平均の77.5%は下回っています。

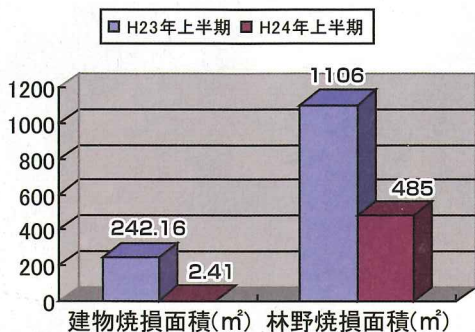
住宅用火災警報器は、煙や熱を自動的に感知して、早い避難、通報、消火といった初期行動がとれるため、火災による被害を軽減することができます。まだ設置されていない世帯の方は、大切な命や財産を守るためにも、住宅用火災警報器を設置するようお願いいたします。

住宅用火災警報器設置比較表



※平成24年6月1日現在

火災種別、件数比較表

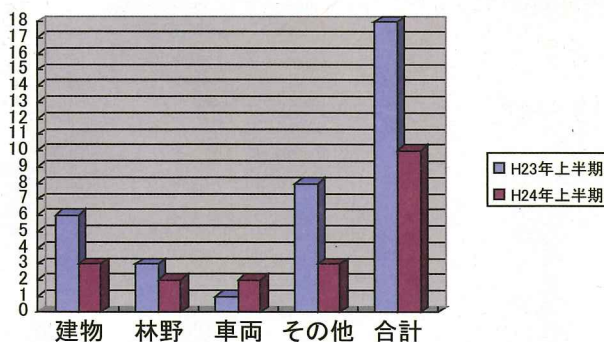
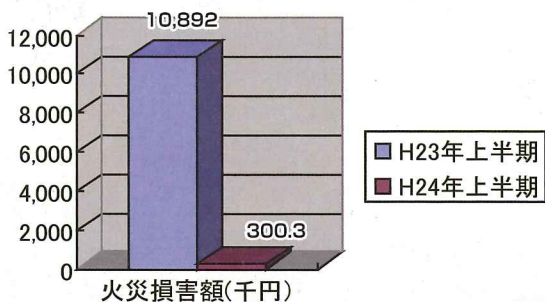


※()内は、前年同期との比較
※平成24年1月1日から5月30日まで

菊川市平成24年上半期 火災統計

平成24年上半期の火災件数は、10件で、前年同期に比べて8件減少しています。内訳を見ると「建物火災」3件(3件減)、「林野火災」2件(1件減)、「車両火災」2件(1件増)、「その他火災」3件(5件減)となっています。

建物焼損面積、林野焼損面積、火災損害額も前年同期に比べて減少しています。これからの季節は、火を使う機会が増え、空気も乾燥するので今一度火の取扱いには、気をつけましょう。



防火ポスターコンクールを 開催しました

消防本部では、昨年度より子供たちの防火意識の向上を目的に、市内の小学校四年生を対象とした防火ポスターコンクールを実施しています。本年度は、堀之内、六郷、小笠南小学校の三校を対象として作品を募集し、156点の作品が応募されました。皆さんの作品は、どれも力強く見た人が防火意識の向上に繋がるものでした。(結果・敬称略)

「金賞」柴田皓輝(六郷小)「銀賞」浅井陽香(小笠南)「銅賞」小野田春音(堀之内小) 佳作
鷺坂怜於、増田有花、河野優人(六郷小)
戸塚大和、本田翼(堀之内小) 中川優佳(小笠南小)



施設見学

今年も市内の小学四年生が、社会科の授業の一環で消防署見学に来てくれました。どの生徒も真剣な表情で、職員の説明を聞いてくれました。みんな消防署の仕事は分かっただかな？



小笠南小学校のみんな



堀之内小学校



内田小学校

花火教室

女性消防団員と一緒に保育園、幼稚園に花火教室に行きました。花火の正しい遊び方を教え、実際に花火を体験してもらいました。



内田保育園



河城保育園



小笠南幼稚園